

やさしくて
よくわかる

「正しい列車乗っ取り」

全国100万の列車マニアのみんな、げんきかな？毎日毎日、列車を愛しまくっているみんなのために、今日はNear みみより 耳な情報をお届けするぜ！

さて、ぼくら列車マニアは、写真を撮ったり、模型を作ったり走らせたり、写真集を買いまくったり、「A列車で行こう」で徹夜したり、小物を集めたり、と
いろいろな方法で鉄道車両を愛しちゃってるよね。

しかしね、こういったぼくらの行動は

「本命には近づき難いから、代わりのものでガマンガマン！」

という代償行為って言うやつなんだ。だからぼくらの本当の究極の想いは

「本物の列車が欲しい・運転してみたい」

ということのハズだ。

ちゅーわけで今日は、「列車乗っ取り」の方法をお教えしようではないか。

1 ターゲットは……

いきなり

「阪急電車でチャレンジ！」

というのは、ビギナーの君たちに
とっては無謀だ。

やっぱ、最初は中小の鉄道から始めるというのが鉄則だろう。慣れてきてから徐々にステップアップしていけば良いのだから。それにはじめのうちは自由奔放に列車を動かしてみたいはず。大鉄道は

ダイヤが厳密に決められていて、乗っ取り犯と言えど運転者はそれに厳密に従わなくてはならない。乗客に迷惑をかけるようでは乗っ取り道に反するからだ。だから大鉄道ではかえって窮屈な思いをする羽目になるだろう。

よってビギナーの君たちの最初のターゲットは

「地方の中小の私鉄または支線」
ということになる。

そこで大阪からの日帰り乗っ取りの旅が可能な鉄道路線をいくつか選んでみた。

鳥取県：若桜鉄道

兵庫県：北条鉄道

三木鉄道

和歌山県：有田鉄道

紀州鉄道

以上の線はそれぞれに魅力的だが、今回は皆さんに、とっておきの路線をお知らせしよう。

その名は「名鉄美濃町線」だ。

「名鉄」というと名古屋近辺でブイブイいわせている大鉄道ではないか？と思われるだろうが、これがとんだ見間違い。名鉄は美濃町線に接続している岐阜市内こそ喧噪の中をブイブイいわせて走ってはいるが、一步、美濃町線に入ってしまうえばローカル私鉄なのだ。

それも専用軌道はもちろん、路面軌道あり、道路との柵なし併走あり、道路中央突破あり、民家の軒先あり、軌道突入暴走車あり、子どもの飛び出しあり、婆さんの乳母車あり、踏切無しの信号無しと、バラエティーに富んだ路線なのだ。

そこで今回はこの名鉄美濃町線をターゲットにしてみよう。

2 まず乗っ取る方法は・・・

最初にすることは、岐阜市内から日野橋行きの列車に乗り込むことだ。

道路の中央に線路がありペイントしただけの乗降場がある。まずは車の流れに気をつけて道路のど真ん中に出よう。列車がないときに道路の真ん中に突っ立っているのは超危険なので、列車がやって来てから道路に出ることにしよう。



列車に乗り込んだら、その幅に感動！道路との併用のため列車の幅が極端に短いのだ。メジャーを持ち歩いている人は幅を測ってみよう。座席に座って足を伸ばせば向かいの座席に届きそうだ。

さて列車は市内を抜けていき、乗客が減ってくる。だんだんと建物が減ってく

る。建物の高さも低くなり、開放的な風景になっていく。

15分も走れば「野一色」駅に到着。ここは専用軌道でホームもある。ここで乗ってきた列車は折り返すので、乗客は同じホームに停まっている新関行きの列車に乗り換える。



運転手は列車から離れて立ち話をしている。 **ここがチャンス！**

運転席はフリー状態だ。



すばやく運転席に滑り込み、ドアを閉めて、発車だ！

じわあーっと列車は滑り出し、乗っ取り大成功！わざわざ岐阜県までやって来た甲斐があったというものだ。

3 次に運転だ

ここまでは、やってみると意外と簡単だ。しかしこれから問題が山積みされているのだ。

まず少ないとはいえ、お客さん対策だ。運転がぎこちないとお客さんに気づかれてしまうぞ。「急」のつく操作は控えて安全運転に徹しよう。

普通に運転していればお客さんは運転席など見ていないので、まあバレることはないが、たいていの場合、鉄道マニアが運転席の後ろにへばり付いている。特に名鉄の時刻表まで買い込んできているマニアは要チェックだ。彼らは騒ぎだすかもしれないぞ。しかし彼らも同じ鉄道マニア。我々の心情は理解できるはず。彼らには時間をかけて事情を十分話し、理解してもらい、時には協力もしてもらおう。

さて走り出すと君がこの列車の運命を握っているといっても過言ではない。暴走して時速300kmでコーナーに激突するのもしないのも君のクラッチワークひとつにかかっているのだ。そこで美濃町線の運転上の注意だ。

道路と併走するときは、鉄路以外にもじゅうぶん注意をしよう。道路も狭いため、自動車が鉄路に割り込んでくることもあるぞ。自動車と違い列車は逃げるのでスピードを落とし、クラクションやライトも活用して自動車にアピールしよう。交差点では信号に注意しよう。黄色になったら注意をして進もう。赤信号で交差点に進入するのはやめ

よう。他の車と事故ってしまうと後々面倒だ。

踏切はほとんどの場合、警報機はおろか、遮断機もない。民家の庭先をかすめて通ることもある。垣根越しからフツと子どもが飛び出してくることもある。安全に終点まで到着するためには、

クラクション鳴らしまくり

だ。見通しの悪い場所なら周囲の住民は日常茶飯事だから気にはしないだろう。

さあ、駅だ。慎重にホームに停車しよう。ここではホームの基準線にぴたりと停車し乗客の信頼を得ることに努めよう。駅に着いたら、まず降りるお客さんから運賃を受け取ろう。このときチップを差し出す奇特なお客さんもいるが、固辞しよう。お客さんが降りてもポーとしてはいけない。駅によってはタブレットというワッカを職員が持ってくることもある。これはこの先を走るための通行手形なので、必ず受け取るように。受け取りもごく自然に行うこと。勘の良い職員にバレてしまっただけで、せつかくの乗っ取りが水泡に帰す。また対向列車とすれ違いのためいつまで経っても発車できないときがある。こういうときは気分転換も兼ねて列車から降りよう。良い運転者とは列車から降りても職業意識を忘れないことだ。常に周囲に気を配ろう。例えば駅の横に道路との平面交差があつて、しかも信号も遮断機も無いことが美濃町線では珍しくない。必要とあらば対向列車が無事通過するまで道路を封鎖し、

人間踏切となろう（写真）。



こういった地道な作業が、信頼できる乗っ取り運転者を作り上げていくのだ。

4 フィニッシュ

運転すること1時間。クラッチワークも板についてきて周囲の美しい山村風景も眺める余裕ができてきた頃、終着・「美濃」駅に到着だ。最後まで付き合っていたいただいたお客さんに謝辞を述べ、車両への名残を残して、颯爽と列車から降りよう。

そして最後は、お客さんに混じって何気なく改札を抜けよう。

終わり

品行方正な安全運転で乗客の信頼をかちとろう！